人形物語

竹久夢二

青空文庫

1

あるちいさな女の児と、大きな人形とが、ある日お花さんのおうちをたずねました。

ところが　その女の児は、それはもうほんとに、ちいさな女の児で、その人形はまた、それはそれはすばらしい大きな人形だったのです。

それゆえ、お取次に出た女中には、人形だけしか眼に入らなかったのです。女中はおどろいてお花さんに、

「まあお嬢さま！　大きなお人形さんがお嬢さまに逢いにいらっしゃいましたよ」と言いました。

2

「玉ちゃん」茶の間で、お母様の声がする。

「はあ」と愛想よく玉ちゃんは答えました。

「後生ですから、そこから鋏をもってきて頂戴な、ね」こんどはだまっていましたが、いそいでそこにあった人形を抱きあげて、

「あたし、いま、人形におっぱいあげていますの……」と言いました。暫くすると可愛い子守唄がきこえて来ました。

ねんねしなされまだ日はたかい。
暮れりゃお寺の鐘がなある。

3

お冬さんの人形は病気でした。

ちいさなお医者様は、大きな時計を出して、人形の脈をとりながら「ははあ」と小首をかたげました。

お冬さんは、心もとなさに、

「先生、いかがでございましょう」

とたずねました。先生は手を拭きながら、

「なあに、ちょっとした風邪ですから御心配には及びません。お子様方は夜おやすみの時、おなかを出さないように気をつけて下さい」

と言いました。

青空文庫情報

底本：「童話集　春」小学館文庫、小学館
　　2004（平成16）年8月1日初版第1刷発行
底本の親本：「童話　春」研究社
　　1926（大正15）年12月
入力：noir
校正：noriko saito
2006年7月2日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

人形物語

竹久夢二

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/